

2020.11.1

日常へ

八重山毎日新聞、八重山日報の第1面からかりゆし病院の名前がなくなりました。患者さん、職員とも3日間連続でPCR陽性者も出ていません。職員のホテル療養者も今日4名退所となり残り2名となります。まだ八重山病院に12名、当院から転院したコロナの患者さんが入院しています。八重山病院での入院勧告解除となった順に当院に受け入れていく必要がありますのでもう少しコロナ対応は続きます。たくさんの高齢の患者さんがコロナ感染者となってしまいましたが重症化例は少なく、ほとんどが軽症～中等症で終わっています。本当に良かったと思います。

沖縄本島や宮古島など感染流行地域と思われる地域に渡航された方、島外から来られた方との接触があった方で何らかの症状が出現して相談外来に連絡を頂き、PCR検査を実施していますが、こちらからの感染者が増えるのでは？という雰囲気がありました。広がりは最低限の感じがして来ました。渡航歴なし、接触歴なしで風邪症状の方も一時的にPCR検査をしています。こちらからのPCR陽性者は出ていませんので、石垣島ではコロナの市中感染は起きていないという判断をしても良いと思います。

八重山地区は今までのコロナ対策がきちんと行われて来たため、島外から持ち込まれるコロナに細心の注意を払っていればコロナと共存できる地域と思われれます。繰り返しますが島外に渡航したり、島外の方と接触したりして5～7日目に何らかの症状があれば迷わずコロナ相談外来に電話をしてください。その日にPCR検査を実施します。観光客を相手にする職業の方は毎日接触しているでしょうから症状あればPCR検査を実施します。こういった考えで相談外来の運営を行って来て、今までホテル関係、レンタカー関係などで勤務されている方のコロナ感染者を早期に見つけ出すことが出来ています。一番怖いのはかりゆし病院でクラスターが起きた原因と思われる症状なしで経過している感染者です。渡航したり、島外の方と接触があった場合、自分はもしかしたらコロナ感染者になっているかもしれないと思って行動してください。手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保、密にならない努力をするなど心掛けてください。発熱がなくてもちよっと喉が痛い、風邪症状が少しあるくらいでもコロナ感染者はたくさんいます。大丈夫だろうは危ないと思います。